地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2015
5月
No.12

県立尼崎総合医療センター

[各科紹介]

小児アレルギー科
病理診断科

研修医[自己紹介]

新病院に向けてリレーメッセージ
情報管理部から

お知らせ
尼崎病院と塚口病院の
統合にあたって

近松門左衛門像
四季折々の花が楽しめる日本庭園、
近松公園にて(尼崎市)

兵庫県立尼崎病院　兵庫県立塚口病院

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構

小児アレルギー科

こどものアレルギーへの対応を当科で適切にサポートします

小児アレルギー科は近年増加する食物アレルギーやアトピー性皮膚炎、喘息など小児のアレルギー疾患を診断・治療する科です。食物アレルギーなど時には命に関わる事もあり、適切に対応しなくてはいけません。当科では学会ガイドラインにもとづいた適切な対応により患者さんのアレルギー疾患をより良くコントロールする事を目指しています。

小児アレルギー科の紹介

新生児、乳児、幼児、学童と子どもの成長にともない、みられるアレルギー疾患が少しずつ異なります。当科では子ども達の成長も考えながらそれぞれの疾患に対する適切な診断・治療・アドバイスを行っています。子ども達のすこやかな成長が我々の願いです。

対象とする疾患

- **気管支喘息**
  内服・吸入療法等により発作ゼロを目指す治療を行います。
- **アトピー性皮膚炎**
  内服・外用療法を併用しながら乳児期早期から皮疹の治療・コントロールを行い、湿疹を成人期に持ち越さないようにする事を目標とします。
- **食物アレルギー**
  血液検査や食物負荷試験を行い必要最小限の食物除去を基本に安全な食生活が送れるよう診断・指導を行います。必要な症例には積極的にエピペンの処方やその指導を行います。
- **花粉症**
  最近増加傾向にある小児の花粉症に対しては、内服・点鼻薬によるシーズン前からの予防を行い、少しでも症状が軽くなるようにコントロールする事を目標とします。

県立塚口病院 小児アレルギー科科長
飯尾　潤

京都大学医学博士
日本アレルギー学会専門医
日本小児科学会専門医

左から：川崎英史医師、飯尾 潤医師、西濱扶生子医師

病理診断科

高次機能病院の基盤

巷間、「常勤病理医のいない病院でがん治療を受けてはいけない」、とも呟かれていますように、病理診断科は、中核病院、がん拠点病院の基盤の一角を担っています。新病院に向けて、若手、中堅、熟練、元研究者の複数の病理医が病理診療を提供する体制が整いました。それぞれの特徴を有機的に統合、補完して、迅速で精度の高い病理診療体制を維持すると共に、学術的な研鑽にも取り組み、病院全体のレベルの向上に努めます。

県立尼崎病院
病理診断科科長
山本 鉄郎

日本病理学会専門医·指導医
日本臨床細胞学会専門医·指導医

県立塚口病院
病理診断科科長
安水 良知

日本病理学会専門医·指導医
日本臨床細胞学会専門医·指導医
第一種放射線取扱い主任者

病理診断科の紹介

病理診断科は、手術や生検などで得られた臓器や組織を顕微鏡で診断するのが主な任務です。
対象は頭から足まで、全臓器のありとあらゆる病変に及びます。がん診療においては、がんの組織型、分化度、広がり、浸潤、リンパ節転移など、がん病巣の詳細について評価し、個々の患者さま毎の詳細な情報を診療各科に報告します。

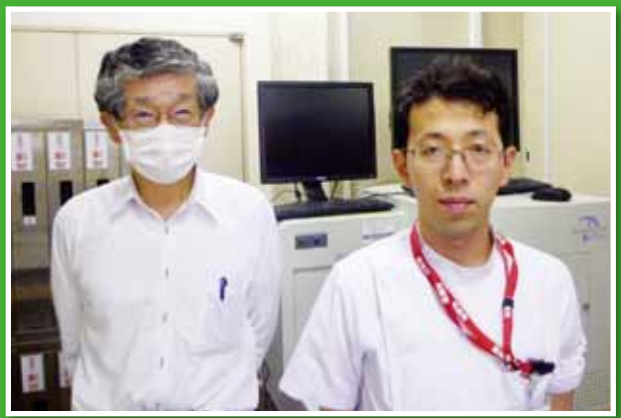
病理診断科の活動

1）病理組織診断
手術摘出臓器や生検組織などの病理組織診断を行います。多くの場合、病理診断は最も信頼度の高い医学的評価となります。

2）術中迅速診断
がん診療において、手術中に病変本体の病理診断を行い、また切除断端でのがん組織の有無などを判定し、手術室の執刀医に報告します。

3）病理細胞診断
子宮頸部·内膜、喀痰、尿、体腔液、また、甲状腺、乳腺、リンパ節、皮下腫瘤等々の細胞を検査し、悪性か否かを判定します。

4）病理解剖
不幸にして亡くなられた患者さまを、ご遺族の同意の上、病理学的に詳細に検討させて頂きます。



左から：鷹巣晃昌医師、中島直樹医師

7月の県立尼崎総合医療センターに向けて

素敵な19人の研修医の皆さん

自己紹介

青木　光

出身地 吹田市

1日1日を大切に、日々成長を目標に、真摯に医療に取り組んでいきたいと思います！

内山　奏

出身地 神戸市

生まれも育ちもほぼずっと兵庫です。地元の医療に貢献できるよう頑張ります！

大久保 佑樹

出身地 堺市

大阪生まれ大阪育ちです。
モットーは明るさ・素直さ・謙虚さでいこうと思います！

大槻 周也

出身地 枚方市

スポーツ大好きです！いつも笑顔を心がけています！若さを武器に同期と共に新病院を盛り上げていきます。

岡　祥次郎

出身地 尼崎市

この辺で育ち、大学は京都にいっていました。９年大学行っていたので、目つむってでも歩けます。県尼もそんな感じにしたいです。

岡崎 沙麗

出身地 高知県

生まれも育ちも高知県！
初の本州上陸です♫
早く関西弁使いこなせるよう、がんばります！

奥立 大樹

出身地 豊中市

大阪で生まれ、中高大は神戸で育ちました。ウインドサーフィンで黒くなった分、潔白誠実な医師目指して頑張ります。

菅　恵梨

出身地 豊中市

徳島で大学生活を送り、関西に帰ってきました。少しでも患者さんの役に立てるよう笑顔を絶やさず頑張ります！

栗本　信

出身地 香川県

香川に生まれ、大学は京都で、ちょうど真ん中？の尼崎にやってきました。患者さんのために頑張ります。

甲田 一馬

出身地 東大阪市

神経内科志望だと言うと、神経質そうだもんねーと言われますが、別にそうでもないです。

坂本 みなみ

出身地 沖縄県

大学から神戸に来てすっかり関西が大好きになりました♡南国の島で育んだ体力を武器に笑顔で頑張ります!!

佐野 翔平

出身地 高砂市

加古川市と姫路市の間の高砂市から来ました！播州弁の言葉は汚いですが、心をこめて話します！！

柴原 淳平

出身地 たつの市

紫原ではなく柴原です
柴犬の「柴」です
人の笑顔が大好きです
心まで診れる医師を目指します！

辻本 泰貴

出身地 三田市

三田市、六甲高校、神戸大を経て尼崎に辿りつきました。ワイワイやるのが好きです。沢山お話しましょう！

中田 理佐

出身地 宝塚市

おでこが光っている研修医がいたら、それは私です！ドキドキハラハラの毎日ですが一生懸命頑張りたいと思います。

前田 登史

出身地 宝塚市

すぐそばの宝塚出身、中高は西宮。阪神地区で育ったので、今度は貢献できるよう頑張ります。

横川　暢

出身地 枚方市

尼崎は初めてですが母の生まれ故郷でもあるので里帰りしてきたような気分です。すこしでもこの街に貢献できるように頑張ります。

横山 浩子

出身地 宝塚市

住み慣れた兵庫で地元の医療に貢献したいです！バレーボールで培った体力で何事も積極的に頑張ります！

吉本 奈央

出身地 尼崎市

地元生まれ地元育ち、大学は香川でした。幼い頃お世話になった病院で働けることを嬉しく思います！

新病院に向けて

情報管理部から

リレーメッセージ

県立尼崎総合医療センター新医療情報システムの特徴

右から 片山 哲夫（県立塚口病院 医療情報担当部長）
宮本 忠司（県立尼崎病院 医療情報担当部長）
石間 正俊（県立尼崎病院 情報管理課長）

▶“情報管理部”ってナンだ？

CIA？ KGB？ いえ、そんな物騒な機関ではありません。“電子カルテのところ？”、“ワープロやメールと似たようなものでしょ”ってぐらいのご認識でしょうか？

実は、我々が作業している電子カルテの裏では、採血検査、レントゲンや処方などの情報を処理する個別の部門システム（新病院では50を超える）との間で、膨大な情報を迅速、正確、安全にやり取りしているのが、医療情報システムです。新病院設立決定当初から新システムの構想を練り、両病院の職員や契約会社の方々とともに構築し、その管理、運営、改善の主体が情報管理部で、今後、益々重要になる部門です。

▶新システムでの3つのキーワード

新システムのキーワードは3つ。

❶個人情報保護に配慮したシンクライアント方式、❷外来患者案内システム、❸県立病院で初めての専任の医療情報技術者です。

❶大手企業には導入がされていますが、病院での導入事例はまだ多くありません。個々の端末には情報を残さない仕組みなので、医師個人のコンピュータも電子カルテ端末として安全に使用することができます。

❷患者さんに端末をお渡しし、画面表示に従って移動をしていただきます。慣れると、並ばなくてよくなります。

❸医療情報システムは非常に高度化、複雑化しており、医療者だけで対処できる範囲を超えています。新病院では、県立病院として初めて専任の医療情報技術者を配置し、システムの管理は当然のこと、診療の改善を図ります。例えば、待ち時間の発生原因を分析、短縮するなど、データに基づいたの改善が可能になります。また、医師会が主導する“*h-Anshin* むこねっと”を牽引する中核病院としての原動力になるものと自負しております。

開院当初は何かとご不便をおかけするかもしれませんが、ご理解賜りますようお願いいたします。

次号予告

次号は、「県立尼崎病院 医療安全対策担当部長 牧 淳彦」と「県立塚口病院 医療安全対策担当部長 廣瀬雅哉」からのメッセージです。

私たちの尼崎病院、塚口病院での今までの診療記録、今度の新病院ではどうなるの??

ご安心ください。

我々は、新病院へ移転するにあたっても、途切れない継続した医療を考えています。

今度の尼崎総合医療センターでは、患者さまの両病院の診療情報を引き継ぎます。

今まで外来診察や入院での診療記録（または、要約）、CT検査・MRI検査などのX線画像、内視鏡検査の画像、血液・尿検査、手術記録や病理組織などが新しい病院でも参照することが可能です。

お知らせ

兵庫県立尼崎総合医療センター
Facebook ページを開設しています。

兵庫県立尼崎総合医療センター フェイスブック 検索

Find us on Facebook してね！

尼崎病院と塚口病院の統合にあたって　お知らせ！

お知らせ❶

県立尼崎総合医療センターの診察券を事前に受け取りませんか？

5月1日から新病院の診察券の事前発行を尼崎病院と塚口病院で開始

新病院（県立尼崎総合医療センター）では、今までの県立尼崎病院・県立塚口病院の診療情報を引き継ぐため、新病院用の患者番号による新しい診察券が必要になります。

新病院用の診察券をお持ちでない場合、新病院来院時には、先ず、新診察券の発行が必要になります。7月開院当初は、新病院での診察券発行窓口の混雑が予想されます。

つきましては、両病院に通院されたことのある患者さまを対象に、新病院で使用する診察券の事前発行を右上記のとおり開始します。

新病院へ引き続き通院予定の患者さまは、あらかじめ新病院診察券をお受け取り頂くと、新病院初回来院時の待ち時間が少なくて済みます。

診察日や検査日でなくても結構ですので、両病院の受付時間内に新病院診察券をお受け取り頂きますよう、ご協力をお願いいたします。

発 行 期 間：5月1日（金）～6月26日（金）　平日のみ
発行時間帯：午前9時～午後5時
発 行 場 所
《尼崎病院》：玄関ホール奥
　　計算窓口横（Aブロック側）の特設カウンター
《塚口病院》：正面玄関入った右側のカウンター

お知らせ❷

『h-Anshin（はんしん）むこねっと』をご利用の患者さまへ

尼崎病院・塚口病院から、県立尼崎総合医療センターへ
皆さまの診療情報の公開継続（開示設定の更新）のお知らせ

この7月に県立尼崎病院と県立塚口病院が統合し、新たに県立尼崎総合医療センターが開院するにあたって、『h-Anshin むこねっと』での情報公開元を現在の両病院から新病院へ移行します。

つきましては、新病院は、異なる病院ではなく、尼崎病院と塚口病院の継続した病院ですので、皆様が両病院へ提出していただいた『h-Anshin むこねっと　診療情報共有のための同意書』をそのまま有効とし、公開設定の手続きをとらせていただきます。

公開設定の更新を希望されない患者さまは、当院主治医またはかかりつけの先生にお申し出ください。

なお、6月末から7月初めにかけて、ネットワークが一時中断されますので、『h-Anshin むこねっと』をご利用できなくなることをご理解ください。

編集後記

ホットプレート。上にのせる板をかえるだけで焼き肉や鍋料理にも使える、優れものです。我が家でもよく使うのですが、買ってから1回も使ったことのない板がありました。たこ焼き用の鉄板です。

一度、試してみようと思い、粉（出汁入り）、たこ、ネギ、天かす、紅ショウガ等を買ってきて作ってみました。棒でクルクルたこ焼きを回すのは面白いです。もちろん、お店の味にはかないませんが、なんとか丸くなりました。チャレンジすることって大切ですよね。　（R．N）

兵庫県立尼崎病院
〒660-0828 兵庫県尼崎市東大物町1丁目1番1号
TEL 06-6482-1521（代表）　FAX 06-6482-7430
http://www.amahosp.amagasaki.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎病院　検索

兵庫県立塚口病院
〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町6丁目8番17号
TEL 06-6429-5321（代表）　FAX 06-6422-7405
http://www.tsukaguchi-hospital.net/index.html
兵庫県立塚口病院　検索

発行　兵庫県立尼崎病院　兵庫県立塚口病院
企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社